



株主のみなさまへ

# 第97期第2四半期 株主通信 2022年4月1日～2022年9月30日

|          |          |   |                 |     |
|----------|----------|---|-----------------|-----|
| Contents | 中期経営計画   | 1 | 高砂香料グループの人権への対応 | 7   |
|          | トップメッセージ | 2 | 会社情報            | 9   |
|          | 財務ハイライト  | 3 | 株式情報・CSR        | 10  |
|          | 連結財務データ  | 4 | グローバルネットワーク     | 裏表紙 |
|          | 事業概況     | 5 |                 |     |

高砂香料工業株式会社 証券コード：4914

 TAKASAGO

## New Global Plan-1【NGP-1】2021-2023年度

### 3つの基本方針

海外の成長促進  
国内の利益改善  
サステナビリティの推進

### 5つの柱

- 顧客満足度向上
- 事業成長戦略推進
- 技術革新
- 利益体質改善
- 人材開発

### 7つの重点課題

- グローバル経営基盤の整備
- 海外拠点事業部門強化のための仕組み作り
- 合成事業生産体制の再構築
- FL・FR製品生産効率性の追求
- 海外拠点と日本を繋ぐ安定した人材の開発
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

### 創業精神／Corporate Philosophy

技術立脚の精神に則り社会に貢献する  
Contributing to Society through Technology

### 企業理念／Corporate Mission

香りを原点とする革新的な技術を通して、  
新しい価値を創造し続ける

Our mission is to create new value  
through innovation rooted in **kaori**

※kaori : aroma in Japanese

### Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

- 多様な価値観を尊重する
- 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
- 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
- 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

Care for People, Respect the Environment

Our vision is to be:

- proud of our culture of respect, diversity and inclusion
- in harmony with nature, enriching and bringing well-being to daily life
- full of hope and ambition, confidently taking on new challenges
- eager to keep innovating, remaining an indispensable company



代表取締役社長

榑村 聡

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

本年度前半のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症や資源価格の上昇、供給制約などが重石となったものの、企業収益や個人消費など、基調としては持ち直しの動きが広がりました。世界経済につきましては、国・地域ごと

にばらつきを伴いつつ、総じてみれば緩やかに回復に向かいました。今後の内外経済の見通しにつきましては、引き続き回復基調が続くと見られますが、感染症の動向やその影響、今後のウクライナ情勢の展開や資源価格の高騰、米国金融引き締め等を背景とした内外経済や為替市場の動向等、十分注視する必要があります。

香料業界においても、世界経済の動向に合わせる形で、全体としては回復基調で推移しました。依然として競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。ただし、原材料及びエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱等の影響を受け、利益面では厳しい環境となることが想定されます。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、95,208百万円(前年同四半期比14.8%増)、営業利益は4,784百万円(前年同四半期比10.7%減)、経常利益は7,148百万円(前年同四半期比25.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,440百万円(前年同四半期比22.6%増)となりました。

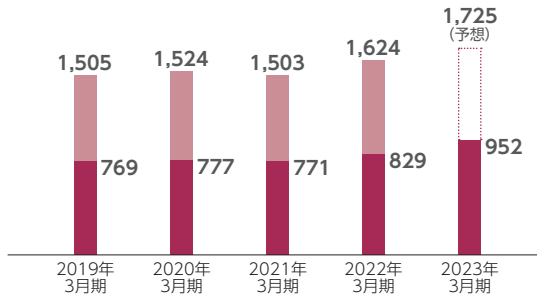
なお、中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃からのご支援にお応えするため、長期安定配当の方針を継続し、前期同様1株当たり25円の配当とさせていただきます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 売上高

単位：億円

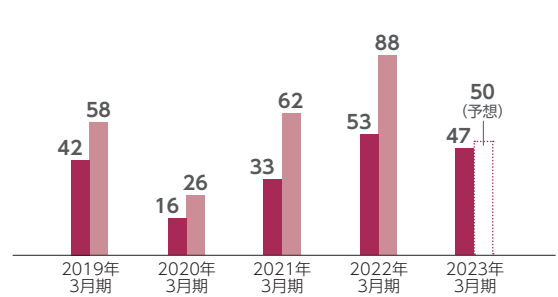
■第2四半期 ■通期



## 営業利益

単位：億円

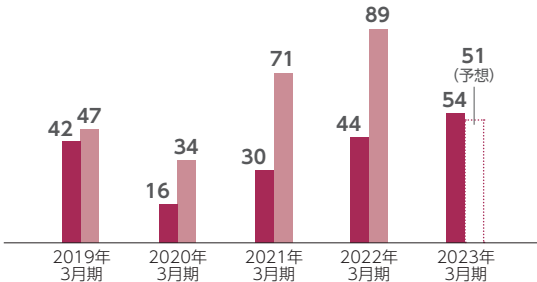
■第2四半期 ■通期



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

単位：億円

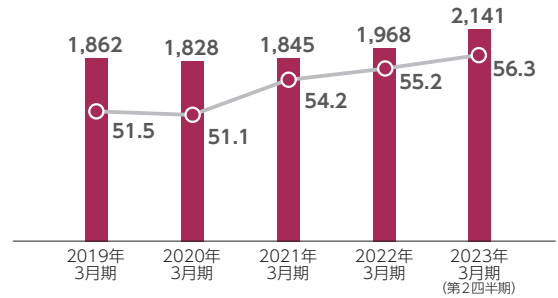
■第2四半期 ■通期



## 総資産／自己資本比率

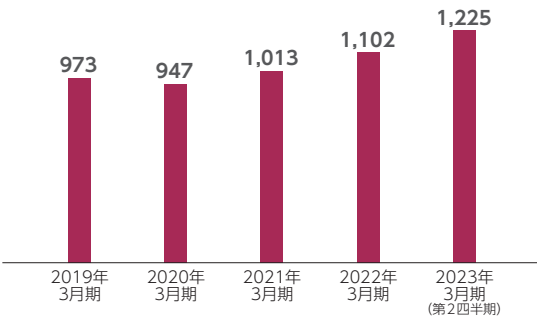
単位：総資産／億円  
自己資本比率／％

■総資産 ●自己資本比率



## 純資産

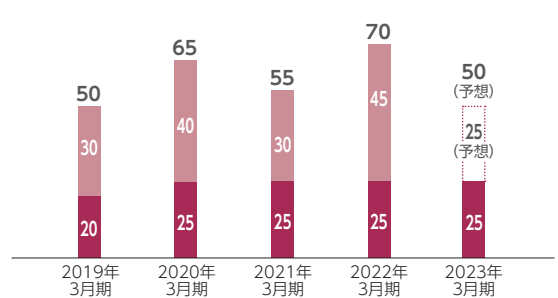
単位：億円



## 1株当たり配当金

単位：円

■第2四半期 ■通期



経営成績

単位：億円

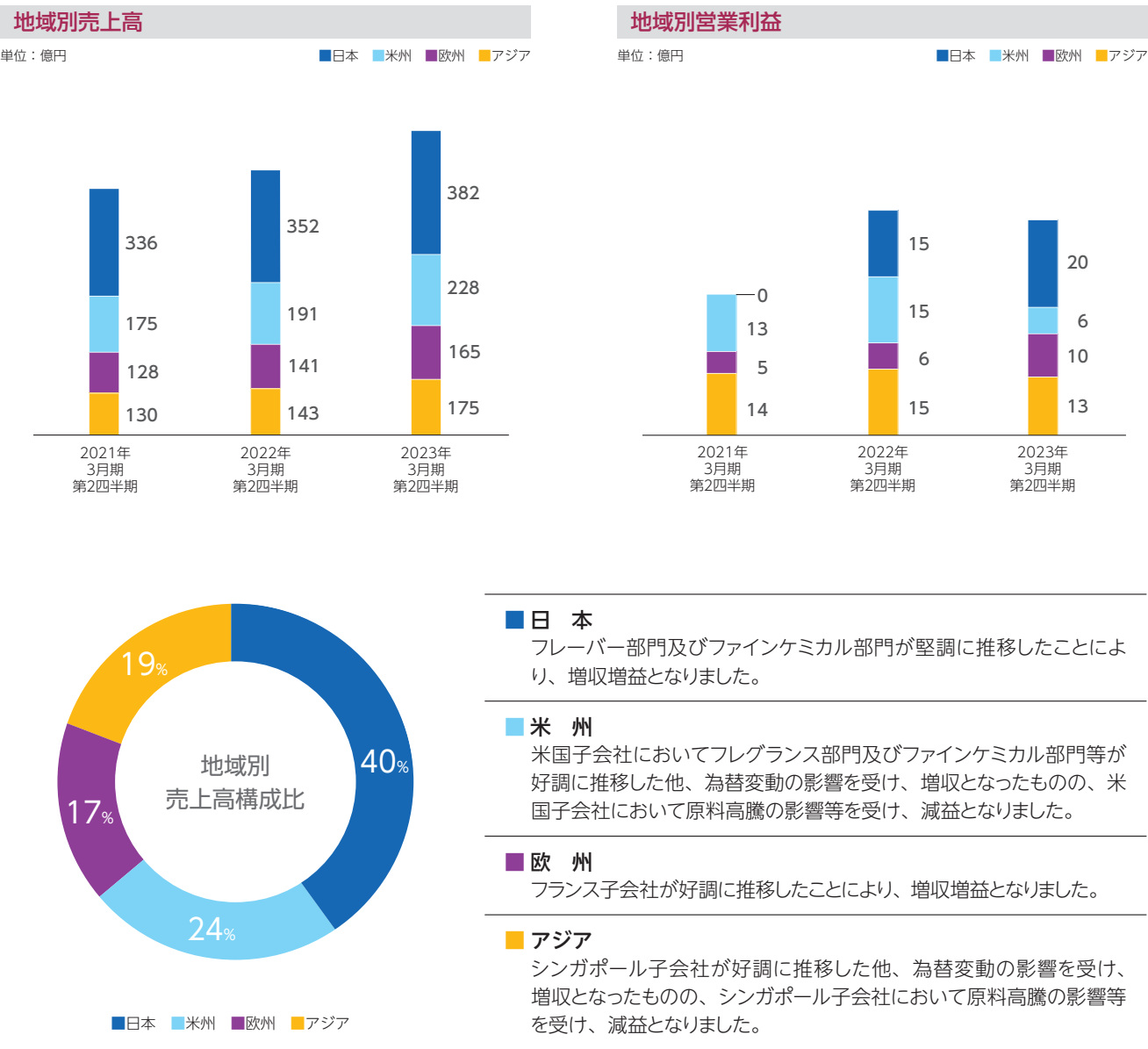
| 科 目                 |   |       | 2019年3月期<br>(第93期／第2四半期) | 2020年3月期<br>(第94期／第2四半期) | 2021年3月期<br>(第95期／第2四半期) | 2022年3月期<br>(第96期／第2四半期) | 2023年3月期<br>(第97期／第2四半期) |
|---------------------|---|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 売                   | 上 | 高     | 769                      | 777                      | 771                      | 829                      | 952                      |
| 売                   | 上 | 原 価   | 527                      | 559                      | 544                      | 567                      | 667                      |
| 売                   | 上 | 総 利 益 | 241                      | 217                      | 226                      | 261                      | 284                      |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 |   |       | 199                      | 201                      | 193                      | 208                      | 237                      |
| 営                   | 業 | 利 益   | 42                       | 16                       | 33                       | 53                       | 47                       |
| 経                   | 常 | 利 益   | 52                       | 14                       | 34                       | 56                       | 71                       |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益    |   |       | 42                       | 16                       | 30                       | 44                       | 54                       |

財政状態

単位：億円

| 科 目             |   |     | 2019年3月期<br>(第93期) | 2020年3月期<br>(第94期) | 2021年3月期<br>(第95期) | 2022年3月期<br>(第96期) | 2023年3月期<br>(第97期／第2四半期) |
|-----------------|---|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 流               | 動 | 資 産 | 943                | 909                | 917                | 1,068              | 1,200                    |
| 固               | 定 | 資 産 | 918                | 918                | 927                | 899                | 941                      |
| 流               | 動 | 負 債 | 529                | 554                | 503                | 571                | 624                      |
| 固               | 定 | 負 債 | 358                | 326                | 327                | 294                | 291                      |
| 純               | 資 | 産   | 973                | 947                | 1,013              | 1,102              | 1,225                    |
| ( う ち 株 主 資 本 ) |   |     | (834)              | (853)              | (912)              | (991)              | (1,037)                  |
| 総               | 資 | 産   | 1,862              | 1,828              | 1,845              | 1,968              | 2,141                    |

地域別概況





## 部門別概況



### フレーバー部門

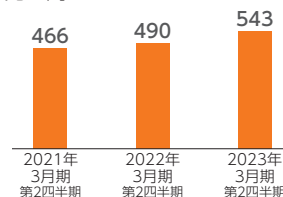
売上高 **543億円** [ 前年同期比10.9%増 ↑ ]

#### 事業内容

飲料やデザート、菓子、乳製品、調理食品などに、優れた香りと風味を付与するフレーバーを提供し、さらに果汁やコーヒー、お茶といった食品原料も提供しています。

- 当社及びシンガポール子会社において飲料向け等が好調に推移し、増収となりました。

売上高 単位：億円



### フレグランス部門

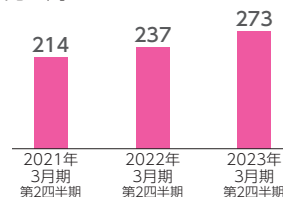
売上高 **273億円** [ 前年同期比15.3%増 ↑ ]

#### 事業内容

香水や化粧品やシャンプー、洗剤、芳香剤、入浴剤といった商品に使用される香りを、残香性や拡散性、安定性にも優れたかたちでクリエーションし、提供しています。

- フランス子会社において化粧品向け等が好調に推移し、増収となりました。

売上高 単位：億円



### アロマイングリディエーツ部門

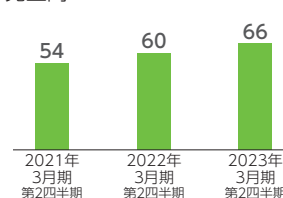
売上高 **66億円** [ 前年同期比10.9%増 ↑ ]

#### 事業内容

光学活性で革新的かつユニークな香りの素材を開発し、高品質のフレーバー、フレグランスのクリエーションに用いています。

- スペシャリティ品が堅調に推移した他、為替変動の影響等を受け増収となりました。

売上高 単位：億円



### ファインケミカル部門

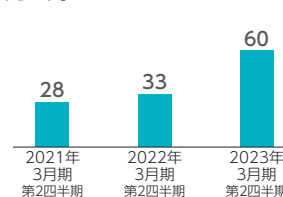
売上高 **60億円** [ 前年同期比79.9%増 ↑ ]

#### 事業内容

独創的な触媒・不斉合成技術を核に、連続フロー技術による医薬品中間体、電子写真感光体などの機能性素材を提供しています。

- 医薬品中間体が伸長したことにより、増収となりました。

売上高 単位：億円



※上記の他に、その他不動産部門の売上高7億円がございます。

企業活動において人権の尊重は不可欠な要素です。

当社が扱う香料原料は数千以上にのぼり多種多様であるため、世界各国のビジネスパートナーから原料を調達しています。人権に関する取り組みにおいても、このビジネスパートナーとの連携が非常に重要と考えています。

当社では、自社のみならずサプライチェーン全体を意識して人権に関する取り組みを行っております。

## 基本的な考え方

高砂香料グループでは人権を尊重した企業活動を行っています。

2017年に国連グローバルコンパクトに加盟、2019年には、人権侵害に対する当社グループの姿勢をより明確にするため「高砂香料グループ人権ポリシー」を策定しました。そして2021年、多岐にわたる人権問題を整理し『人権に関する重点課題』として考え方を纏め、同ポリシーに付記しました。サプライチェーン全体での人権への取り組みも強化すべく、この『人権に関する重点課題』を「高砂香料グループサプライヤー行動規範」にも織り込みました。原料のみならず全ての物・サービスを調達しているお取引先様に、同行動規範をご説明し遵守をお願いすることで、サプライチェーン全体にわたる人権対応の浸透を図っています。



### 高砂香料グループ人権ポリシー

高砂香料グループは、「国際人権章典」、「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」「国連グローバル・コンパクト」等の国際的な人権基準を支持するとともに、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいて、高砂香料グループ人権ポリシー（以下、本ポリシー）を定めます。本ポリシーは、高砂香料グループが、技術立憲の精神に則り社会に貢献する企業として取り組むべき人権尊重についての約束を示すものです。

#### 1. 適用範囲

本ポリシーは、高砂香料グループの全役職員（役員・正社員・契約社員を含むすべての社員）に対し適用されます。また当社グループは、ビジネスパートナーおよびサプライヤーに対して、本ポリシーを支持し同様の方針を採用するように継続して働きかけ、協働して人権尊重を推進します。

#### 2. 人権尊重の責任

高砂香料グループは、人権を尊重し、自らの事業活動において人権への負の影響が生じた場合には直ちに是正に向けて適切に対処します。ビジネスパートナーやサプライヤーにおいて人権への負の影響が引き起こされている場合には、当社グループによる影響力を行使し、適切な対応をとるよう促すことにより人権尊重の責任を果たします。

#### 3. 適用法令の遵守

高砂香料グループは、日本国はもとより、事業活動を行うそれぞれの国または地域における法と規制を遵守するとともに、国際的な人権基準を最大限尊重し、これを積極的に推進します。

#### 4. 教育

高砂香料グループは、自らの役職員が本ポリシーを正しく理解し適切な対応ができるように定期的包括的な教育を行います。

#### 5. 人権デューデリジエンス

高砂香料グループは、人権尊重の責任を果たすため、人権デューデリジエンスの仕組みを構築し、これを継続的に実施します。ここにいう人権デューデリジエンスとは、高砂香料グループが社会に与える人権への負の影響を防止または軽減するために、予防的に調査・把握、対策検討・実施、モニタリング評価を行い、それを繰り返すプロセスです。

当社グループ

において差別

教、民族、移  
住者、性傾向、

適用すると

する重点課題

め取り組んで

見直しを行い

児童を雇用

をしません。

に支払いま

15日制定

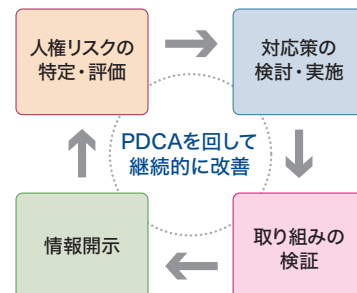
11日改定



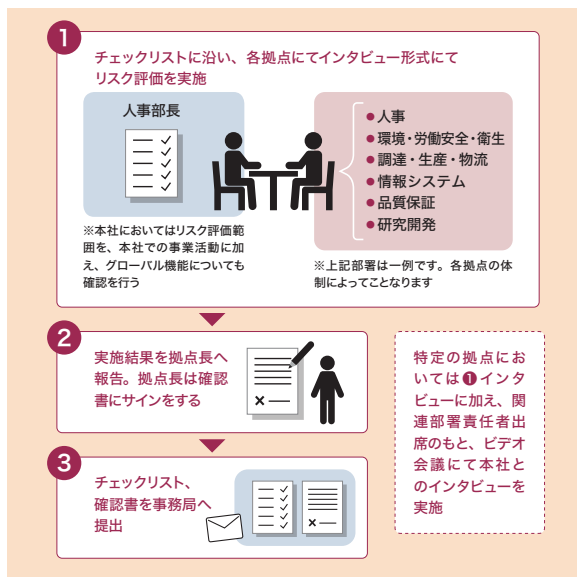
## 人権デューデリジェンス

並行して2019年に事業活動の人権への影響を抽出・予防・緩和していく「人権デューデリジェンス」の仕組みを構築し、継続的に実施しています。2020年度より、すでに構築した方法に加え、本社より複数の拠点とTV会議を通して状況確認を行うなど掘り下げた取り組みも行っています。経団連「人権デューデリジェンスのための手引き」を参考に作成したチェックリストを基に、国内外全ての拠点（法人単位）で関連部署とのヒアリングを毎年実施しています。

実施後は報告内容を集計、対応策の策定（必要に応じて）を行い、その結果を取締役会へ報告しています。その後Sustainability Report等で情報開示を行っています。



### ●リスク評価方法



### ●対応策の検討・実施・報告



## 今後の取り組み

人権デューデリジェンスの継続的な実施と人権に関する研修の定期的な実施を検討しています。

日本での人権デューデリジェンスに関する法令化も議論が進んでいるように、人権に対する企業の対応がより一層求められてきています。

人権問題の対応に特効薬はなく、継続的な見直しや地道な改善活動が必要となります。今後も継続して取り組みを続けてまいります。

## 会社概要

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| 会 社 名 | 高砂香料工業株式会社<br>(TAKASAGO INTERNATIONAL CORPORATION)   |
| 本 社   | 〒 144-8721 東京都大田区蒲田 5 丁目 37 番 1 号<br>ニッセイアロマスクエア 17F |
| T E L | 03-5744-0511                                         |
| 創 業   | 1920年2月9日                                            |
| 資 本 金 | 92億4,853万8,972円                                      |

## 国内事業所一覧

|       |         |           |         |         |
|-------|---------|-----------|---------|---------|
| 本 社   | 大 阪 支 店 | 名 古 屋 支 店 | 福 岡 支 店 |         |
| 平塚研究所 | 平 塚 工 場 | 磐 田 工 場   | 鹿 島 工 場 | 三 原 工 場 |

国内子会社

|                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 株式会社高砂ケミカル              | 高栄産業株式会社      |
| 高砂スパイス株式会社              | 高和産業株式会社      |
| 高砂フードプロダクツ株式会社          | 有限会社高砂保険サービス  |
| 高砂珈琲株式会社                | 南海果工株式会社      |
| 株式会社高砂インターナショナルコーポレーション | 高砂香料西日本工場株式会社 |
| 株式会社高砂アロマス              |               |

**取締役および監査役**（2022年6月24日現在）

[illegible]

(注) 1. 取締役野依良治氏、松田浩明氏は社外取締役であります。  
2. 監査役小野哲氏、中江康男氏は社外監査役であります。

**執行役員**（2022年6月24日現在）

聰也哉一弘樹一樹康之則彦康幸  
久達健史直裕茂浩孝文明裕俊  
村原川中野野端元林藤野田山  
桼藤山染谷水磯川隈木佐川平村  
員員員員員員員員員員員員員  
役役役役役役役役役役役役役役  
行行行行行行行行行行行行行行  
執執執執執執執執執執執執執執  
長務務務務務務務務務務務務務  
社常常常常常常常常常常常常常

THE TAKASAGO COLLECTION

高砂コレクション®ギャラリーの活動が「This is MECENAT 2022」に認定されました

当社では、香りは文化であるという認識のもと社会貢献活動の一環として、さまざまな香り文化の支援と普及に取り組んできましたが、中でも高砂コレクション®は当社の文化活動の中核をなすものとなっています。

この度、当社が運営する「高砂コレクション®ギャラリー」が、公益社団法人企業メセナ協議会によるメセナ活動認定制度「This is MECENAT 2022」において優良なメセナ活動として認定されました。今後も香りの文化活動の支援・発信を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

● 高砂コレクション® ギャラリー公式サイト  
<https://www.takasago.com/ja/museum>

● This is MECENATとは

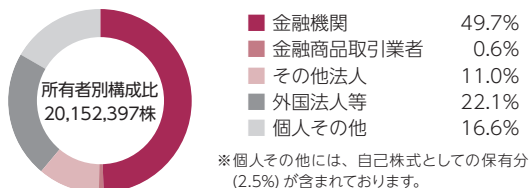
企業が取り組むメセナ（芸術文化振興による豊かな社会創造）活動を有識者の審査により認定し、各活動に光をあてることにより、芸術文化を通じた豊かな社会づくりを促進していくことを目的とした制度。認定された活動にはシンボルである「メセナマーク」が発行されます。



## 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,152,397株 |
| 株主数      | 5,258名      |

## 株式の分布状況



## 大株主

| 株主名                                                                | 所有株式数(千株) | 持株比率 |
|--------------------------------------------------------------------|-----------|------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                            | 1,786     | 9.1% |
| 日本生命保険相互会社                                                         | 1,468     | 7.5% |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                                                 | 1,154     | 5.9% |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES PARIS/JASDEC/BNPP SA RETAIL FRANCE | 994       | 5.1% |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                                        | 947       | 4.8% |
| 共栄火災海上保険株式会社                                                       | 780       | 4.0% |
| 中江産業株式会社                                                           | 720       | 3.7% |
| 高砂香料従業員持株会                                                         | 541       | 2.8% |
| 株式会社みずほ銀行                                                          | 486       | 2.5% |
| 株式会社紀陽銀行                                                           | 471       | 2.4% |

(注) 1. 当社は自己株式496,382株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数には信託業務に係る株式数が含まれております。

## 表紙の写真

### ろくじゅういっしゆめいこう 六十一種名香

六十一種名香は名香の中から室町期に志野宗信が足利義政の命により選んだ香木とされるが定かではない。並びなき名香として香道の世界では特別な価値を持つ。香木の入った香包みは縹地龍田川文様緞子の仕覆に包まれた錫製筒に収められ、さらに黒漆塗篋の中に容れられている。香包みに記された、能筆の手になると思われる香名の繊細な筆跡も優美である。

撮影：十文字 美信

## 株主メモ

|            |                                                                                                             |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度       | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                             |
| 定時株主総会     | 6月                                                                                                          |
| 基準日        | 定時株主総会 3月31日<br>期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日                                                                  |
| 株主名簿管理人    | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                               |
| 特別口座口座管理機関 | 同                                                                                                           |
| (同連絡先)     | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>電話 0120-232-711(通話料無料)                                    |
| 上場証券取引所    | 東京証券取引所プライム市場(化学)                                                                                           |
| 証券コード      | 4914                                                                                                        |
| 単元株式数      | 100株                                                                                                        |
| 公告の方法      | 電子公告により行う                                                                                                   |
| 公告掲載URL    | <a href="https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html">https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html</a> |

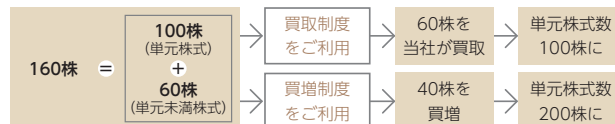
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式に関する手続きについて

### ● 単元未満株式(100株未満の株式)買取・買増制度について

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主さまは、ぜひ買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

### 買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



## サステナビリティ分野の取り組み

当社グループは、持続的な社会の実現に向けて、環境保全をはじめとした様々な課題に対しグローバルに取り組んでいます。詳細については、当社ホームページ「サステナビリティ」をご参照ください。



高砂香料工業株式会社  
『サステナビリティ報告書 2022』

URL <https://www.takasago.com/ja/sustainability/data>



## ヨーロッパ・中東・アフリカ

|        |                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------|
| フランス   | Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.               |
| ドイツ    | Takasago Europe G.m.b.H.                                    |
|        | Takasago International (Deutschland) G.m.b.H.               |
| イタリア   | Takasago International (Italia) S.R.L.                      |
| スペイン   | Takasago International Chemicals (Europe), S.A.             |
|        | Takasago International (España) S.L.U.                      |
| イギリス   | Takasago (U.K.) Ltd.                                        |
| トルコ    | Takasago International Turkey Esans Ve Aroma San. TIC. A.S. |
| 南アフリカ  | Takasago International Corporation South Africa (Pty) Ltd.  |
| マダガスカル | Takasago Madagascar S.A.                                    |
| モロッコ   | STE Cananga S.A.R.L.                                        |

## アメリカ大陸

|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| アメリカ | Takasago International Corporation (U.S.A.)<br>Centre Ingredient Technology, Inc. |
| メキシコ | Takasago De Mexico S.A. De C.V.                                                   |
| ブラジル | Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.                                               |

## アジア・パシフィック

|        |                                              |       |                                             |
|--------|----------------------------------------------|-------|---------------------------------------------|
| 日本     | Takasago International Corporation           | パキスタン | Takasago International (Pakistan) Pvt. Ltd. |
| シンガポール | Takasago International (Singapore) Pte. Ltd. | 中国    | 上海高砂香料有限公司                                  |
| フィリピン  | Takasago International (Philippines), Inc.   |       | 上海高砂・鑑臣香料有限公司                               |
| タイ     | Takasago Import and Export (Thailand) Ltd.   |       | 廈門華日食品有限公司                                  |
| インドネシア | PT. Takasago International Indonesia         |       | 高砂香料 (広州) 有限公司                              |
|        | PT. Takasago Indonesia                       | 韓国    | Takasago International Corporation (Korea)  |
| インド    | Takasago International (India) Pvt. Ltd.     | マレーシア | Takasago International (Malaysia) Sdn.Bhd.  |

### 株主総会招集ご通知の電子提供制度について

会社法改正により、2023年以降の株主総会招集ご通知は紙でお送りせず、原則インターネットでのご確認になります。  
招集ご通知を引き続き紙でお受け取りになりたい株主様は、2022年9月1日から2023年3月31日までに「**書面交付請求**」という  
お手続きが可能です。  
詳細は同封のリーフレットをご確認ください。